

グローバルな視点を持ち、新たな価値を創造する人材の育成

西条高校は、1期に引き続き、令和3年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。SDGsの達成に向けて科学技術イノベーションを担う生徒の育成を目標に、生徒の多彩な進路実現を目指します。

Super Science Highschool (スーパーサイエンスハイスクール)って何？

◆文部科学省の指定を受けて、先進的な理数教育に取り組む高校

愛媛県では、松山南高校、宇和島東高校に次いで本校が3校目であり、東予地区では唯一の指定校です。

◆全校生徒が課題研究に取り組む

本校のSSH事業の特徴は、理系に限定せず、生徒全員が対象であることです。課題研究で得た知識や経験は、進路実現にも良い影響を与えています。SSH前には80名台であった国立大学合格者数は、R2年度以降100名を超えるようになり、京都大などの難関大合格者も増加しました。(右表)

課題研究のレベルは年々上がっており、今年は台湾での世界大会に出場しました。

国立大学合格者数

	令和3年度	令和4年度
国立大学	68名	75名
公立大学	32名	29名
合計	100名	104名

◆本物に触れて体験する

1年生の「有法子」では、西条市の課題について市の職員をお招きして講演をいただいたり、一緒に考えて意見を出します。2、3年生の課題研究(マルチサイエンスI、II)では、大学、高専や研究機関と協働研究をしたり、企業に取材や助言をいただいたりしながら研究を深めていきます。また、多様な研修を実施し、外部の機関と積極的に連携し、本物に触れる機会を年間を通じて提供していきます。



令和5年度の活動スタート！生徒の声紹介

◆1年生「産業」「社会」講演会



<1年2組 岡田悠希さん>

現在の経済や社会の状況を知り、時代の変化に応じて新しい課題が生まれるのだと分かりました。今は、少子高齢化が大きな課題となっています。人が減っても、地域を活性化できる方法を探すことが、一つの解決策になるのではないかと思います。

有法子とは？

方法はある。知恵をだして成せばなる(何事にも積極的に意欲を出せ)

十河信二氏

(本校卒業生、新幹線の生みの親)



(産経新聞社撮影)

◆2年生 課題研究テーマ設定

<2年1組 久保 璃織さん>

自分が興味を持っている分野について、課題を解決するための研究テーマを班の人と考えました。インターネットや本を活用して情報収集を行ったり、研究計画を立てて今後の活動の流れを確認したりして、研究活動を開始させることができました。

取材・文：新聞部



◆3年生 研究発表会

<3年2組 山川 蘭さん>

今年度も、普通科文系で課題研究の個人発表を行いました。どの教科の発表もとても興味深く、個々の練習の成果が発揮された内容でした。また、発表を聞く生徒の態度も素晴らしく、厳粛な雰囲気の中で発表を行うことが出来ました。

